

SUZUCHU VOL.82 秋 NOW

- 発行日 2025年10月1日
- 発行 鈴鹿中央総合病院
- 編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会
〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
TEL 059-382-1311
URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
- 編集協力 (株)TCKnagoya

【道】

…その先にあるもの

眼科医療の現状と当院の取り組み

■Salon de news

- ・オープンホスピタル開催
- ・納涼医局会開催
- ・がん市民公開講座のお知らせ

■教えてQ&A

「リブレ2 はじめました」

■院内【知っ得!辞典】

看護師 「日本糖尿病療養指導士」

■誌面でクッキング

秋の味覚「きのこ」が主役の和え物



SUZUCHU NOW Vol.82 2025 秋

●発行日 2025年10月1日 ●発行 鈴鹿中央総合病院

●編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
TEL 059-382-1311 URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/ ●編集協力 TCK名古屋



日本糖尿病療養指導士

院内 知っ得! 辞典



看護師
松葉谷美代子

糖尿病療養指導士とは、糖尿病とその療養指導に関する幅広い専門知識をもち、患者さんの生活を理解し、適切な自己管理が行えるよう援助する役割を持ちます。

また、糖尿病重症化予防(フットケア)研修を受けた看護師8名と「患者さんの足を守る」ことを目標とし、フットケア外来(第4木曜日午後)と、透析中の患者さんのフットチェック・フットケアを行っています。見えない足の異変に気づき、適切な検査・治療の手助けとなるよう活動しています。肥厚した爪切りや角質除去・巻き爪のケアをする中で、自分の足に関心を持っていただき、自分やご家族でケアが出来るように支援しています。糖尿病のこと、足のことで何か気になることがあれば、お気軽にご相談下さい。

私は、糖尿病の合併症である腎機能が低下した(eGFR 60以下)患者さんにCKD(慢性腎臓病)チームの一員として糖尿病透析予防指導外来(月曜日午後)を14年間活動しています。血糖値の改善だけでなく、患者さんの生活の質の向上を目指し、多職種と連携しながら「心に届く会話」を心がけています。

～秋の味覚

「きのこ」が主役の和え物～

きのこは低カロリーな上に食物繊維やビタミンD、B群を含んでおり、栄養満点の食材です。普段は脇役になりやすいきのこですが、せつかくの旬の時期、きのこを主役にしたおかずを作ってみてはいかがでしょうか。



管理栄養士
刀根 英里
(とね えり)

材料(5人分)

しいたけ	100g
えのき	100g
しめじ	150g
葉ねぎ	50g
鶏ハム	45g
(市販のサラダチキンやツナ缶でも代用可)	
タレ	
うすくち醤油	大さじ 1(16g)
さとう	小さじ 2(6g)
酢	大さじ 1(15g)
ごま油	(お好みで少々)

《栄養価》

エネルギー	50kcal
タンパク質	5.8g
脂質	0.6g
食物繊維	2.7g
カリウム	308mg

作り方

- ① 鶏ハムを作る
 - ・鶏胸肉200g、酒大さじ1、砂糖小さじ1、塩ひとつまみをポリ袋に入れて、しぼる。
 - ・湯を沸かし、炊飯器にポリ袋のまま鶏肉を入れ、熱湯を浸かる程度まで注ぐ。
 - ・炊飯器の保温機能で1時間加熱。
 - ・出来上がったら取り出して、皮を外して、身をほぐして、冷ます。
- ② きのこと葉ネギを湯搔いて、絞り、冷ます。
- ③ タレを合わせておく。
- ④ 材料が冷めたら、①の使用量と②と③を合わせて冷蔵庫で馴染ませて完成!!

ご意見に お答え します!

- Q** 入院の時CSセットでなまきを借りたのにサイズが合うものがないままに返したと聞いた物がないでしようか。
- A** このたびは、ご不便をおかけして申し訳ございません。CSセットのなまきにサイズが合わない場合や、サイズが合わない場合は、病棟スタッフに相談いただければ対応させていただきます。

「家系ラーメン」

私は学生時代を過ごした神奈川県で、すっかり家系ラーメンの虜になりました。家系ラーメンと聞くと思えば横浜を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、今回は、私の母校がある相模原市から、特におすすめの3店舗を紹介いたします。横浜家系ラーメンの王道を行く「クックラ」は、ラーメン百名店に選ばれるほどの人気店です。濃厚でありながらも旨味も感じられるスープと、もちもちの麺が特徴で、多くの人を虜にする一杯です。次に、「奥津家」は家系総本山の一つである「吉村家」直系。バランスの取れたスープと、香ばしいスモークチャーシューが絶品で、家系好きなら一度は訪れた名店です。そして、深夜まで営業している「魂心家」は、ライス無料のサービスが嬉しいポイントです。ラーメンを食べに行くというより、米を食べに行くお店でしょう。

わたしのすすめ

紹介 研修医 江崎 雅武



Coffee Break



SALON DE 鈴木ニュース NEWS

オープンホスピタルを
開催しました

7月12日（土）、医療職に興味がある高校生の方を対象にオープンホスピタルを開催しました。実際の医療現場を肌で感じてもらうことを目的に、医師・看護師・薬剤師・その他コメディカルの職員が、高校生の方に対して実際の業務の説明や体験、個別相談を行いました。参加者からは「普段、見ることができない道具や皮膚縫合の練習など貴重な経験をさせていただけだ」「患者さんと実際に交流して看護師の仕事の良さがわかった」「具体的で専門的な仕事内容について知ることができた」といった体験等に関する声の他、「改めて看護師になりたい、医療の道に進みたいという気持ちが強くなりました」といった嬉しい声がありました。

これからも私たち医療職に興味と信頼を持っていただけよう、積極的にオープンホスピタルや、インターンシップを開催していこうと思います。

納涼医局会開催

7月10日（木）、地域の医療機関の先生方を中心とした190名の参加者によって盛大に開催されました。第1部では、診療報告が行われ、眼科部長湯浅湖医師による「眼科臨床の今」当院の診療体制紹介「循環器内科・牧野翠医師による「心不全診療と当院の不整脈への取り組み」の2題が発表されました。第2部では新任医師および研修医の紹介、地域医療の現状などの情報交換などが行われました。このような会等を通じて、地域の「かかりつけ医」と連携を密にし、患者さんが安心して医療をうけられるように、取り組んで参ります。

がん市民公開講座のお知らせ

11月22日（土）14時より「がん市民公開講座」を鈴鹿中央総合病院2階講義室にて開催します。今回は放射線治療とリンパ浮腫について講演予定です。詳細については、ホームページ及び院内掲示等にてご案内いたしますので、皆さんお誘い合わせの上ご来場ください。

道

…その先にあるもの

眼科医療の現状と当院の取り組み



私たちの生活において、視覚から得られる情報は8割以上を占めると言われている。日本は世界に先駆けて高齢化が進み、2024年には「視覚障害」が認知症のリスク因子に新たに加えられた。さらに視力障害のある人は転倒や骨折のリスクも高く、視力の維持は生活の質や活動性を大きく左右する。

今回は鈴鹿中央総合病院眼科の医師2名と視能訓練士2名に、眼科医療の現状と今後の取り組みについて話を聞いた。

幅広い専門領域と
急性期病院としての役割

眼科には斜視・眼瞼疾患、網膜・硝子体疾患、角膜・涙道・神経眼科

など多様な専門分野がある。当院でもそれぞれの分野を専門とする医師が診療を行っている。

網膜硝子体疾患を専門とする佐々木医師は、急性期病院としての役割についてこう説明する。

「白内障の中には眼圧が急激に上がり、強い痛みや吐き気を伴う緊急例もあります。網膜剥離も放置すれば失明につながるため、いずれも早急な手術が必要です。当院ではこうした緊急疾患に対応しています」。

また、小児眼科、斜視や眼瞼疾患を専門とする湯浅医師は、総合病院ならではの特徴を挙げる。

「免疫力が低下した入院患者さんは、通常では起こらないような慢性の眼感染症を発症することがあります。そうした炎症性疾患にも、他科と連携しながら対応することが総合病院眼科の重要な役割です」。

新しい治療への取り組み

近年、近視は世界的に急増しており、2050年には10人に1人が強度近視、全体の6割が近視になると予測されている。近視は将来的に網膜剥離や緑内障など重篤な疾患のリスクを高めるため、早期の予防が望まれる。湯浅医師は、近視進行予防

の取り組みについて次のように語る。「当科では子どもに向けたオルソケラトロジー外来を始めました。これは就寝時に特殊なコンタクトレンズを装着し、日中は裸眼で生活できる方法で、近視進行を抑える効果が期待できます。近視進行予防目的の点眼液である低濃度アトロピン点眼の導入も検討中ですが、いずれも保険適応外となります」。

さらに当院では、角膜疾患や涙道疾患に対する外来も強化している。円錐角膜に対するコンタクト治療を行い、2024年からは多焦点眼内レンズ（※）手術を導入。患者の術後満足度も高く、順調に症例を重ねている。

視能訓練士(CO)の役割

視能訓練士（Certified Orthoptist：以下CO）は、視力・視野検査や眼球運動の評価、弱視・斜視の訓練、ロビビジョンケアなどを担う専門職である。近年は検査機器の高度化により、視能訓練士の果たす役割は一層重要になっている。湯浅医師はこう述べる。

「COがいなければ診療は成り立ちません。視野検査や眼底写真、断層撮影など多くの検査を行い、必要に

応じて助言もしてくれます。コンタクト診療でも不可欠な存在です」。

実際に現場で働く視能訓練士は次のように語る。

「視力検査一つにしても、患者さんの答え方で結果が変わってしまします。体調がすぐれない方には検査の優先順位をつけて調整するなど、正確で負担の少ない検査を心がけています」。

高齢化や生活習慣の変化により、眼科医療のニーズは今後ますます高まっていく。当院眼科では、急性期医療から予防的取り組みまで幅広く対応し、視能訓練士とともにチーム医療を実践している。

取材撮影 TCK名古屋

こころの解説室

※ 多焦点眼内レンズ

白内障手術の際に水晶体の代わりに眼内に挿入されるレンズで、遠くも近くも見えるように設計されたもの

教えてQ&A

〈薬剤部 リブレ担当〉

「リブレ2ははじめました」

Q1 リブレ2とは何ですか？

A 500円玉ほどのセンサーを腕に14日間装着するだけで、持続的にグルコース値を測定して、日々の変動を詳細に記録する機器です。血糖値の変動を継続的にモニタリングすることで、自分の状態をより深く理解し、糖尿病の管理に繋げることが出来ます。

Q3 どのように使うのですか？

A 上腕の後ろ側にセンサーを装着するだけで使用可能です。センサー装着後は、リーダー端末（当院から貸出し）あるいはスマートフォンアプリをセンサーにかざすだけで、すぐにグルコース値が表示されます。測定は1日に何回でも行うことができます。装着したまま風呂に入ってもはがれることはありません。デメリットとしては、血糖値に比べて10%程度の誤差が生じる事と、皮膚の弱い方は皮膚炎などを起こす可能性があります。

Q4 どうすればいいのですか？

A 外来通院中の方は、担当医にご相談ください。担当医の指示に従いまして、院内の薬剤師が装着方法やスマートフォンとの連携、データの見方などをサポートさせていただきます。

Q2 どのような人が対象ですか？

A 糖尿病でインスリン治療を行っている方であれば、どなたでも保険診療でお使いいただけます。頻繁な指先からの血糖測定が苦痛

地域連携NOW!!



INFORMATION

鈴鹿中央総合病院

研修会を行います。

本研修会は地域の医療従事者を対象に新しい医療のあり方や見識を高めるため毎月定期的に勉強会を行い地域医療技術向上を目的としています。

お問合せ先 地域連携室 TEL059-384-1057(直通)

学術講演会

日時 令和7年10月30日(木曜日) ●18:15～19:30

●鈴鹿中央総合病院／2階講義室

司会 鈴鹿中央総合病院 リウマチ・膠原病内科 杉谷直大
(一般講演 18:15～18:30)

一般講演 「リウマチ・膠原病内科の現状について」

演者 鈴鹿中央総合病院 リウマチ・膠原病内科／杉谷直大
(特別講演 18:30～19:30)

特別講演 「膠原病リウマチ性疾患の最新治療
～三重大学リウマチ・膠原病センターの8年間の紹介も交えて～」

演者 三重大学医学部附属病院 リウマチ・膠原病センター
リウマチ膠原病内科学教授／中島亜矢子先生

URL <https://qr.paps.jp/I60PJ>

日時 令和7年11月27日(木曜日) ●18:10～19:30

●鈴鹿中央総合病院／2階講義室

(一般講演 18:10～18:30)

一般講演 「包括的呼吸ケアの充実に向けて」

演者 鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科／北濱 良
(特別講演 18:30～19:30)

座長 鈴鹿中央総合病院 呼吸器内科部長 中原博紀

特別講演 「進行性繊維化を伴う間質性肺疾患(PF-ILD)
の考え方と治療、病診連携について」

演者 三重大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野/
代謝内分泌内科学分野 教授／小林哲先生

DKD Management Seminar

日時 令和7年11月18日(火曜日) ●18:30～19:40

●WEB開催〈講演①18:30～18:55〉

座長 村瀬病院 透析センター長 田之上 明子先生

演題 「フィネレノンによるCKDの残余リスク低減を目指して」
～糖尿病合併腎炎患者における検討～

演者 鈴鹿中央総合病院 腎臓内科医長／田中 紘也
(講演②18:55～19:40)

座長 鈴鹿中央総合病院 院長 北村 哲也

演題 「施設データから見える実臨床でのフィネレノンの活かし方」
～CONFIDENCE試験をふまえて～

演者 虎の門病院 腎センター内科 医長／山内 真之先生

URL <https://qr.paps.jp/Gcgc8>

肺がん検診のための胸部単純X線症例検討会

●鈴鹿中央総合病院／北館2階講義室「持ち寄り症例相談」 ●19:15～

令和7年10月14日(火曜日) ▶▶ 令和7年11月11日(火曜日) ▶▶ 令和7年12月(日時未定)

BCT ●午前7:30～8:00

※事情により予定変更する場合があります BCT(Basic Clinical Teaching)
●鈴鹿中央総合病院／北館2階講義室1

日時 令和7年10月1日(水曜日)

演題 「急性心不全」

演者 循環器内科／渡邊清孝

日時 令和7年10月8日(水曜日)

演題 「輸血の基礎知識」

演者 血液内科／川上惠基

日時 令和7年10月15日(水曜日)

演題 「肺炎」

演者 呼吸器内科／中原博紀

日時 令和7年10月22日(水曜日)

演題 「小児の発熱と痙攣」

演者 小児科／下野吉樹

日時 令和7年11月5日(水曜日)

演題 「抗菌剤適正使用」

演者 薬剤部／九鬼大作

日時 令和7年11月19日(水曜日)

演題 「尿閉・血尿について 救外で診る泌尿器科疾患」

演者 泌尿器科／金井優博

日時 令和7年12月3日(水曜日)

演題 「脳血管障害」

演者 脳神経外科／平山亮太

日時 令和7年12月10日(水曜日)

演題 「骨折」

演者 整形外科／國分直樹

日時 令和7年12月17日(水曜日)

演題 「不整脈」

演者 循環器内科／太田寛史

RCC ●午前7:30～8:00

RCC(Resident Case Conference)
●鈴鹿中央総合病院／北館2階講義室1

演題 「臨床研修医の経験症例発表」

令和7年10月29日(水曜日) ▶▶ 令和7年11月12日(水曜日) ▶▶ 令和7年11月26日(水曜日) ▶▶ 令和7年12月24日(水曜日)

SUZUCHU

CKDチームが活躍しています

HOT LINE 慢性腎臓病チーム

CKDチーム(Chronic Kidney Disease・慢性腎臓病チーム)とは、慢性腎臓病の予防・進行抑制・合併症予防・QOL向上を目的として、医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、理学療法士、臨床工学技士、社会福祉士などの多職種が専門性を活かし連携して活動する医療チームです。



CKD チームメンバー

糖尿病と腎臓病

糖尿病はインスリンが十分にはたらかないために、血糖値が上がって尿に糖が下りる病気です。適切な治療を行わなくても初期にはそれほど目立った症状はありませんが(尿がたくさん出て喉が渇く、体がだるいなど)、体内では動脈硬化が進行して全身の臓器障害が進んでいきます。その一環として腎臓にも障害を起こし(糖尿病性腎症)、数年～数十年かけて腎不全が進行して、最終的に全く腎臓が機能なくなると、透析や腎移植が必要になります。糖尿病・腎不全は共に初期症状があまり無いため、放置して気付いた時には重症化していることが少なくありません。更にどちらも完治する(病気が体から完全に消え去る)ことは無いため、生涯に渡って病気と付き合っていかなければなりません。

糖尿病透析予防指導外来とは

糖尿病の多くは生活習慣病なので、治療は薬を服用するだけではなく、食事療法や運動療法、減量、禁煙など生活習慣の見直しが必須です。また食事療法は糖尿病だけでなく腎不全の食事療法も加わってくるため複雑で相反する部分もあり、これまで糖尿病に対する食事療法をしっかり行ってきた患者さんほど戸惑ってしまうこともあります。当外来では医師だけでなく薬剤師や看護師、管理栄養士、社会福祉士、リハビリスタッフなどでチームを作り、一丸となって患者さんに対する治療方針を相談しています。具体的には患者さんの生活習慣や生活背景を詳しく聞き取り、問題点を抽出してそれぞれの専門分野の観点から対応策を考えていきます。ご自身の食生活などプライベートな部分に干渉されることに抵抗感がある方もいらっしゃると思いますが、指導によって血糖値や血圧が下がる、尿蛋白が減る、体重が減る、薬が減らせるなど良い効果が得られることが多いです。糖尿病や腎機能の数値が良くないと言われていたり、尿に蛋白が出たりして気になっている方は是非一度主治医の先生にご相談の上、腎臓内科の外来を受診してみてください。

外来のご案内

◆診療受付時間／午前8:30～11:30まで

- 診療科により診療日、診療時間が異なる場合があります。
- 再来受付機のご利用は午前7:50から

◆休診日

- 都合により、事前連絡なく代診・休診になる場合があります。ご了承ください。
- 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月30日～1月3日)
- 緊急の場合は休診日や診療時間帯に関わらずお問い合わせください。
- ☎ 059-382-1311(代)

◆診療申込み

初診の方および、受診する科が初めての方は診療申込用紙に必要事項をご記入の上、必ず保険証とあわせて新患受付にお出ください。

◆患者さまへのご案内

- 診察券はご来院の際、必ずお持ちください。各科共通で永久使用しています。
- 毎月1回、保険証(マイナ保険証)の確認を行っています。3ヶ月以上、確認が取れない場合は再来受付機での受付ができません。保

険証に変更がある場合は必ず受付までお申し出ください。

- 受診の際、お車で越しの方は駐車サービス券を会計で受領し、事前精算を行ってください。
- 外来担当者が都合により代診や休診になる場合があります。ご了承の程よろしくお願いします。

◆紹介状をお持ちの方

- 紹介患者さま専用受付を設置いたしております。紹介状をお持ちの場合は紹介受付へお越しください。係の者をご案内させていただきます。

◆保険外併用療養費(選定療養費)について

- 初診で紹介状をお持ちでない場合は、選定療養費として7,700円(税込)をいただきます。紹介状をお持ちいただければ7,700円(税込)は不要となります。
- 再診の患者さままで下記に該当されます折は選定療養費として3,300円(税込)をいただきます。

- ①かかりつけ医への紹介を受けたが、紹介状なしに再受診された場合
- ②病状が安定した後も当院での通院を希望される場合(事前に担当医よりかかりつけ医への紹介を提案させていただきます)

◆セカンドオピニオン外来のご案内

- 当院ではセカンドオピニオン外来を行っております。
★完全予約制★ ご予約お問い合わせは地域連携室にて承っております。

予約・問い合わせ受付時間

月～金 900～1600(年末年始・土日祝日除く)
☎ 059-384-1057

※ご予約は医療機関からの申込のみとなります。

病院の理念

良質で高度な医療を提供することにより地域の皆様に信頼され選ばれる病院でありたい。

病院の目標

- 1.患者さまの尊厳重視と公正な医療の提供
- 2.最新で高度な医療の提供
- 3.医師の説明と患者さまの選択に基づく医療の提供
- 4.情報の開示とセカンドオピニオンの推進
- 5.地域医療ネットワークの推進

SUZUCHU 外来診療担当表 ※裏面の外来のご案内もご覧ください

診療科目		月	火	水	木	金
一般内科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
循環器内科	初診	太田寛史	岡本紳也	渡邊清孝	山本彩人	北村哲也/榮家徹亮
		榮家徹亮		牧野 翠		伊神明良
	再診	北村哲也		北村哲也	濱田正行	濱田正行
		伊神明良(PM)		太田寛史	牧野 翠(AM)	牧野 翠(AM)
		渡邊清孝			梅澤結子	黒田修平
ペースメーカー外来	予約制			第1水曜日14:00～		第2金曜日14:00～
re:body外来	予約制				太田寛史15:00～	
高血圧専門外来	予約制			北村哲也11:00～		
消化器内科	初診	向 克巳	松崎晋平(胆膵)	齊藤知規	岡野 宏(肝)	佐瀬友博
		田中宏樹(胆膵)	竹中喬紀	磯野功明	野村達磨	熊澤広朗
	再診	野村達磨(AM)	佐瀬友博	向 克巳(AM)	齊藤知規	竹中喬紀
		樋口正太郎(AM)	向 克巳(AM)	西村 晃(肝-PM)	磯野功明	三谷隆敦(AM)
		岡野 宏(肝)	熊澤広朗	田中宏樹(胆膵)	松崎晋平(胆膵)	松崎晋平(胆膵-AM)
血液内科	初診	川上恵基	西村 晃(肝)			岡野 宏(肝-PM)
	再診		川上恵基	水谷 実	川上恵基	
			藪 晃大	岡田真名人		
腎臓内科	初診			田中祐也		小田豪将
	再診	田中祐也(PM)		早川温子		大橋智貴
内科(再診のみ)	再診	山本伸仁			山本伸仁(AM)	
リウマチ・膠原病内科	初再診(予約制)	杉谷直大	大学医		安藤流布人	
糖尿病・内分泌内科	初再診(予約制)			森井将基(AM)		
腫瘍内科	再診					水野聡朗(腫)
眼科	初再診	佐々木拓	湯浅 湖		佐々木拓	畑 七海
		畑 七海		初診休診	畑 七海	米川由賀
		米川由賀			米川由賀	
	再診	湯浅 湖	有馬美香	再診予約のみ	湯浅 湖	佐々木拓
			畑 七海/米川由賀			
レーザー治療(午後)	予約制		レーザー治療	レーザー治療		レーザー治療
斜視・弱視外来(午後)	予約制		斜視・弱視	斜視・弱視		斜視・弱視
眼内注射	予約制	眼内注射		眼内注射	眼内注射	
小児科	初再診	大矢和伸	大矢和伸	大矢和伸		大矢和伸
		下野吉樹	下野吉樹	下野吉樹	下野吉樹	下野吉樹
発達・神経外来	予約制(初診休止中)			第1,3,5塩野愛		
乳児検診	予約制			乳児検診(4カ月)		乳児検診(10カ月)
予防接種	予約制		予防接種			
小児リウマチ膠原病外来	予約制					第3 篠木敏彦
耳鼻咽喉科	初診	藤田祐一(紹介のみ)	初診休診	大学医・久保和之(紹介のみ)	大学医・久保和之(紹介のみ)	藤田祐一(紹介のみ)
	再診	久保和之	担当医	藤田祐一	藤田祐一	久保和之
FNA検査(午後)	予約制			FNA検査		
呼吸器センター	呼吸器内科	初診	藤本 源	浅山健太郎	辻 愛士	中原博紀
		再診	中原博紀	岡野智仁(PM)	高木健裕	浅山健太郎
	呼吸器外科	初診	古田ちひろPM	川野理	川野 理	初診休診
心臓血管外科	再診		中川啓輔			深井一郎
	初再診				伊藤久人	金児博司
外科	初再診	市川 健	小倉正臣	谷川寛自	濱田賢司	金児博司
	再診	金児博司	市川 健	畑中友秀	(午後再診:濱田賢司)	
		長谷川文哉		説田守仁	小倉正臣	説田守仁
		加藤由紀子		畑中友秀/長谷川文哉		
乳腺外来	月・予約制			今井奈央		
ストーマ外来	予約制(14:00～)			ストーマ外来	ストーマ外来	
形成外科(院内コンサルのみ)						
整形外科	初診(紹介のみ)	横山弘和	國分直樹・福垣裕菜	山田浩之・福垣裕菜	初診休診	藤井一剛
	再診	若林弘樹	若林弘樹	國分直樹	若林弘樹	横山弘和
		藤井一剛	藤井一剛(第2/4週PMのみ)	稲田 均	横山弘和	稲田 均
リウマチ	予約制	若林弘樹	若林弘樹	稲田 均	若林弘樹	稲田 均
		清水重利	担当医	清水重利	手術日	土屋拓郎(一般/脊髄)
脳神経外科	初再診	土屋拓郎	浅田玲緒尚	担当医	初再診患者、応相談	浅田玲緒尚
ボトックス治療	予約制					土屋拓郎
脳神経内科	初診	川名陽介	佐羽勇輝	牧 聡樹	川名陽介	牧 聡樹
		稲塚朱音			大学医	早川嘉彦
	再診		牧 聡樹	川名陽介		佐羽勇輝
物忘れ外来	予約制	第1/3/5物忘れ外来				
皮膚科	初診	山際秋沙	大学医	山際秋沙	大学医(10:30迄)	初診休診
	再診					山際秋沙
精神科	完全予約		川喜田昌彦		川喜田昌彦	
緩和ケア内科	完全予約					第1/3/5日井正信(PM)
産婦人科	初診	丹羽正幸	丹羽正幸	初診休診	矢納研二	丹羽正幸
	再診	矢納研二	矢納研二	丹羽正幸	丹羽正幸	(初診優先)
妊婦健診/助産師外来	予約制	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来
泌尿器科	初診	担当医	澤井千夏	井上貴博	金井優博	大橋裕之
	再診		金井優博	大橋裕之	澤井千夏	西原瑞己
新患のみ11:00迄			担当医	担当医	担当医	担当医
放射線治療科	完全予約	村田るみ・水野智貴	村田るみ	村田るみ・水野智貴	水野智貴	村田るみ・水野智貴
IVR科	完全予約				中塚豊真(AM)	中塚豊真
病理診断科	完全予約	馬場洋一郎/朝川可奈			馬場洋一郎/朝川可奈	

(2025年10月1日現在)

お願い

産婦人科からのお願い

◇手術入院分岐は現在休止中です

内科からのお願い

- ◇消化器内科は医療機関または紹介状をお持ちの患者さまからご予約いただけます
- ◇血液内科への新患紹介で水金曜日にお急ぎご紹介をいただきます折は、事前に血液内科医師水谷までご連絡ください
- ◇リウマチ・膠原病内科は予約制です。診察枠が限られていますので、必ずご予約をお願いします
- ◇水曜日 糖尿病内分泌内科は予約制です。診察枠が限られていますので、必ず予約をお願いします
- ◇水曜日 高血圧専門外来、木曜日 re-body外来は紹介・予約制です

小児科からのお願い

- ◇腎尿路系疾患の紹介は下野医師にお願いします。
- ◇発達神経外来・第1,3,5水曜(要予約)はばくは初診受付中止 再診のみ
- ◇予防接種・火曜午後(要予約) 小児リウマチ膠原病外来・第3金曜日午後
- ◇入院が必要な患者さまをご紹介いただきます折は、小児科外来に事前にご連絡ください

耳鼻咽喉科からのお願い

- ◇耳鼻科にご紹介の際は、【初診担当医】宛てでお願いいたします
- ◇紹介状をご持参いただけない初診患者さまは診察できません
- ◇初診患者のご紹介は、月・水・木・金曜日をお願いします(金曜日のみ受付時間が8:30～10:30迄となります)

脳神経外科からのお願い

- ◇ご紹介患者さまについてはご予約可能です。事前に診療情報提供書をFAXしていただき、ご予約をお取りください

泌尿器科からのお願い

- ◇ESWL(体外衝撃波結石破碎術)は現在行っておりません ご了承ください

皮膚科からのお願い

- ◇ご紹介は月・火・水曜日にお願いします(木曜日のみ10:30まで) 手術目的のご紹介は月・水曜日にお願いします

眼科からのお願い

- ◇初診については、紹介患者さんのみとさせていただきます
- ◇二次健診にてご受診希望の場合は水曜日以外にご来院ください
- ◇小児眼科・斜視の患者さまのご紹介は火(湯浅医師)にお願いいたします

整形外科からのお願い

- ◇初診については紹介患者さんのみとさせていただきます
- ◇木曜日は初診コンサルテーションとにも休診です

呼吸器センターからのお願い

- ◇呼吸器センターのご予約方法 呼吸器センターは医療機関様、または(紹介状をお持ちの)患者様からご予約いただけます 呼吸器センター直通TEL 059-384-1025 (平日 8:30～17:00)
- ◇金曜日は呼吸器内科専門医での初診診察 が不可のため、火急の肺炎患者さまを金曜日 にご紹介いただく折は、「一般内科」にご紹介ください。呼吸器内科専門医での診療体制が 整いましたら、呼吸器センター(内科)でお受けいたします

健診センター「オリーブ」

- ◇人間ドック 脳ドック 肺がんドック 月・火・水・木・金曜日(予約制) 健診センターにて受付いたします Tel.059-384-1017

ご近所のお医者さま

当院の登録医院を毎回4機関ずつ紹介しております。

※診療日について都合から休診または代診となる場合がございます詳しくは各医療機関にお問い合わせください。

はるひ野総合診療クリニック



訪問診療要相談

院長 鳥谷部 真実

https://www.haruhino-fc.jp/

◆診療科

●内科●小児科●女性内科

◆特色

- 家庭医療専門医、総合診療医の視点で総合的な診療を行います。
- お子様から高齢者まで、ご家族皆様の症状に対応致します。

●休診日

水曜日・日曜日・祝日

●診察時間

9:00～12:00 14:30～18:00
土曜のみ9:00～14:00

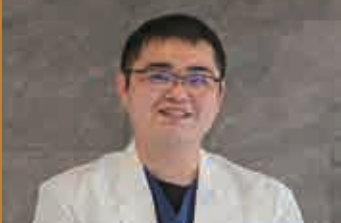
●所在地

〒513-0813 鈴鹿市北玉垣町823-3

●電話 059-389-6161

fax 059-389-6555

留奥歯科・口腔医院



院長 留奥 曜

https://tomedc.com

◆診療科

●一般歯科●口腔外科●矯正歯科●小児歯科

◆特色

当院は、虫歯などの一般歯科治療はもちろん、歯周病予防や、矯正・インプラント等、世代を問わずお口にかかるお悩み全般を解決できる医院です。院内機材も、最新機器やなるべく痛みを伴わない器具を導入し、患者様が安心して通える医療体制を整えております。なによりも「患者様とのコミュニケーション」を大切にし、患者様に寄り添う診療を提供いたします。

●休診日

水曜日・日曜日・祝日

●診療時間

(月金)9:00～12:30/14:00～18:30
(火木)9:00～12:30/14:00～17:30
(土)9:00～12:30/14:00～17:00

●所在地

〒510-0241 鈴鹿市白子駅前1-8

●電話 059-395-6135

fax 059-395-6136

吉田クリニック



訪問診療可

かかりつけ患者さんの往診は応需

院長 吉田 光宏

https://yoshida-clinic.or.jp/

◆診療科

●内科●呼吸器内科(外科、整形外科、神経内科) ●循環器内科●胃腸内科●肛門外科●リハビリテーション科●小児科

◆特色

内科外科領域についての初期対応可。高齢、認知症の患者さまも対応しています 往診)不可(訪問診療可。かかりつけ患者さんの往診は応需)

●休診日

日曜日・祝日

●診療時間

9:00～12:30 15:00～19:00
(土曜のみ15:00～17:00)

●所在地

〒514-0103 津市栗真中山町79-5

●電話 059-232-3001

fax 059-232-4186

落合小児科医院



院長 落合 仁

https://ochiai-p.hp4u.jp/

◆診療科

●小児科●アレルギー科

◆特色

受付は電話予約及びインターネット受付を実施し待ち時間の緩和をはかっています。Well babyとsick childと2つの待合室を設け来院による感染を少なくするように努力しています。健診・予防接種も同様の観点から別時間を設定しております。

●休診日

木曜日・土曜午後・日曜日・祝日

●診療時間

8:30～12:00 16:00～19:00
予防接種14:30～15:30(月水土)
乳児検診12:30～13:00(火)14:30～15:30(火金)

●所在地

〒519-0122 亀山市東台1-17

●電話 0595-82-0121

(自動電話予約 050-5577-0260)

fax 059-252-1383

あなたからの声を、心からお待ちしています

募集！

看護補助員(病棟・外来補助業務)パート
調理員(調理補助・給食業務全般)正社員、パート
管理栄養士(調理補助・栄養指導・給食業務全般)パート

お問い合わせ先 看護補助員看護部 059-382-1311 調理員管理栄養士栄養科 059-384-1029